

著名工事

視察の手引

本欄は次の順序に配列掲載します。①工事名及位置②工事概要及特長③工所用設備④現状⑤設計及監督主任⑥現場主任及請負者⑦工期⑧視察道順及附近名所⑨其他。

大 阪 市 土 木 部

①災害復興「喜連敷津線」道路工事。自国道第十六號線至住吉區平林南之町、②本路線は東喜連町より西へ大阪灣に至る約10.3kmの路線なり。現在施工中の區間は昭和9年秋の大風水害に鑑み、之が対策としてこの區間を特に事業としたものにてその概要は次の如し。(1)自国道第十六號線至十三間堀川車道16.20m、コンクリート(配合1:3:6)厚12cm、乳劑鋪裝厚1cm、歩道各側4.40m、コンクリート(配合1:3:6)厚6cm鋪裝、以上に伴ふ路面排水工、街路樹根圍工及一部階段を施工するものなり。(2)自十三間堀川至終點道路全幅員の中、中央部8mのみをコンクリート(配合1:2:4)厚12cm鋪裝す。上記區間は在來地盤が低きため満潮により浸水せる状態なるを以て平均1.70m位の盛土をなし以て之が防潮に備ふ。尙、本路線は市内南部を東西に横切り其の西端は大阪灣に面せる國際飛行場に達す。尙竣功は昭和13年末頃の豫定なり。③監督員詰所、材料倉庫、指名人大詰所、輾壓機、④盛土工を9%位完了し排水工事を施工中なり。⑤技師松本金吾、⑥技手高橋巖、本市直營、⑦自昭和11年7月1日、至昭和13年12月31日、⑧工事現場は市營バス住吉公園前にて下車し、400m南行して西入、附近に住吉公園、住之江公園及官幣大社住吉神社あり。

①災害復興「千舟橋」改築工事。(築港線天保山運河)東詰(右岸)港區三條通一丁目、西詰(左岸)港區三條通二丁目、②型式「上路ゲルバー」式鋼鉄桁、橋長55米828、有効幅員32米500、徑間數3、③假橋架設中、④設計者技手橋好茂、監督主任技手菊池正信、⑤現場施工主任八島信次、請負者大倉土木株式會社⑦自昭和12年7月、至昭和14年8月、⑧市電堀川交叉點を西へ港港に至る途中に於て天保山運河に架設。

①災害復興「千北橋」改築工事(神崎川に架設)、北詰西淀川區佃町、南詰西淀川區出來島町、②橋長14

9m80、有効幅員7m0、上路「ゲルバー」(徑間數5)(橋脚築造に箱枠を使用し、厚2m50、水中コンクリートを施行す)③高欄ブロック製作場、④高欄ブロック取付中、⑤設計主任鎌田正義、平井敦、監督主任石原三郎、⑥現場施工主任、下部構造工事岡本要、下部構造工事市村組、鋼材製作日本橋梁株式會社、上部構造工事今西留吉、上部構造工事原本組、⑦着手、昭和11年5月18日、竣功豫定、昭和13年1月20日、⑧阪神電車「千船」下車西500米、又は阪神電車出來島下車東300米、

①難波住吉線「市場橋」改築工事、北詰浪速區新川町三丁目及同區元町五丁目、南詰浪速區敷津町一丁目、鰐川筋、②橋長=11.6m有効幅員27.272m(歩道4.554、空道6.241、軌道5.700)橋面積316.35m²鋼鉄桁橋、河を横斷して假締切をなし河水流通用として鐵樋を設置し、又上下流に人道用假橋を置き本工事を三回に分ちて施行す、然して東側の在來橋一部は高速度鐵道隧道工事の際撤去済みにして隧道工事は本工事着手前に完了せり、第一回、高速度鐵道隧道上に橋臺を築造し上部構造完成後一般交通及び東側軌道に移す、第二回在來橋東側軌道部を撤去し該部分を築造の上西側軌道及西側車道の交通を之に移す、第三回、在來橋の殘部を撤去し西側歩車道部を築造し假設物を撤去して工事を完成す、第三回の際下水伏越工事を別途施工す、橋臺は隧道に荷重を一様に分布するため兩側橋臺の底部を連絡す、又隧道上に載らざる部分は橋臺の鉛直壁のみを上下流共(上流4.3m下流3.86m)突桁として出す、下流側歩道及車道部は上流側と同様底部を連絡したる橋臺として杭打基礎上に築造す、本橋は假軌道橋を架することなく在來橋より順次改築橋に軌道に移設するものなり、③假締切を設置し鐵樋を架設し掘盤に着手せり、下流側人道用假橋は架設準備の上着手せんとす、(上流假橋は高速度鐵道工事の際架設せるものを本工事に引継ぎたるものなり)④設計、技手吉川幸男、監督主任、技術員荒牧一男、⑤現場代人竹谷

丑松、請負者市村組、㉗昭和12年9月18日着手、昭和14年2月9日竣功、㉘道順、大江橋(市役所)→御堂筋を南下→難波高島屋前より右折浪華橋を渡り→市電元町二丁目より難波住吉線を南下→八坂神社前(北詰)又は大黒神社前(南詰)下車、附近名勝、八坂神社、大國神社、木津市場、今宮戎神社、(工事現状は昭和12年11月現在)

大 阪 市 水 道 部

㉑大阪市水道柴島水源地第二急流濾過場工事、(大阪市東淀川区柴島水源地内) ㉒本市水道第5回擴張工事に屬し大部分直營にして一部建物を請負とす、總工費 2,100,000圓にして其の規模の大なることは本邦第一にして主なる設備は次の如し、(イ)藥物注入、装置・藥物として粉末礬土及石灰を使用す、(ロ)滅菌装置、塩素及アムモニヤを使用す、(ハ)混和池及沈澄池、上下環流式の混和池4池並に沈澄池8池を設く、沈澄池1池の大きさは幅18米長77米水深約5米なり、(ニ)沈滓掻寄装置、本装置は沈澄池底部に沈澱せる汚泥を一端より他の最深部汚泥「ホツパー」に移動集積せしむるものにして掻寄機2臺「プラウトーム」2臺及其他よりなる、此の種装置の採用は本邦最初のことなり、(ホ)濾池及濾過場建物、濾池は其の數24池にして12池宛2列に配置し其の上に梁間12米、長123米、軒高7米の平家建鐵筋混凝土土家を設く、本館は濾池南端に近接して設け地階共4階建、間口奥行共22米5、方形鐵筋混凝土造にして唧筒室、藥物貯藏室、藥物溶解機室、事務室及洗滌水槽を有す。㉓材料運搬用陸揚設備、濾池用濾砂節分

け設備、㉔殆んど完成近く各設備、一部を使用して既に濾過作業を開始せり、㉕水道部技術課長宮北技師、越智技師、飯田技師、岩井技師、河邊技手、㉖黒田技師、田村技手、名越技手、請負錢高組、㉗昭和13年3月末迄、

㉘大阪市水道柴島水源地自第7號至第10號淨水池、(大阪市東淀川区柴島水源地内) ㉙本市水道第5回擴張工事に屬し直營とす、4池隣接して築造し鐵筋混凝土無梁版構造なり、淨水池の占むる總面積22,000平方米、有效水深4米、容量は4池を合して82,780立方米なり、本池は上床版に「ベンチレーター」を設けず、池の兩側に設けたる監視廊を利用して池の通氣をなさしむ、總工費 1,500,900圓、㉚特別なるものなし、㉛殆んど竣功し目下完成を急ぎつゝあり、㉜水道部技術課長宮北技師、越智技師、松下技手、長谷川技手、㉝黒田技師、木村技手、㉞昭和13年3月末迄、

㉟大阪市水道城内配水池、(大阪市東區大阪城公園内) ㊱本市水道第5回擴張工事に屬し、一部鐵管工事公園計畫等を直營とし大部分を請負とす、總工費470,000圓、池は3池併置し、各池の大きさは長60米、幅30米有效水深6米、容量は3池を合して35,000立方米にして上床版には「ベンチレーター」を設けず、此處に適當に花樹、遊歩道を配し公園の一部とする計畫なり、池内の通氣は池の監視廊を利用す。㊲特別なるものなし、㊳殆んど完成し昭和12年夏期より使用を開始せり、水道部技術課長宮北技師、岩井技師、長谷川技手、㊴黒田技師、岩井技師、梶村技手、㊵昭和13年3月迄、

